

2025年 ○月 ○日

岐阜大学に入学し、定期健康診断を受けたことのある方へ

「日本のワクチン政策の変遷と大学生における麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ抗体価の推移に及ぼす影響」への協力をお願い

感染症寄附講座では、下記のような方の情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011年4月1日～2025年3月31日の間に、岐阜大学に入学し、定期健康診断を受けられた学生の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2028年3月31日

研究目的・利用方法：

日本では先進諸国と比べて公的に接種するワクチンが少ない時代が長く存在しました。このワクチンギャップを埋めるために、2008年以降、定期接種のプログラムは何度も変更されてきましたが、2012年から2013年、2018年には風疹の流行があり、水痘は2014年から小児期の定期接種に組み込まれたばかり、流行性耳下腺炎は依然として定期接種には組み込まれていない状況です。そこでこの研究では日本の若年成人へのワクチン政策の有効性を判断するため、岐阜大学へ入学した学生の健康診断時に採取された麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎への抗体価の年次変化への影響を明らかにすることを目的としています。

研究に用いる試料・情報の項目：

「大学生学生健康管理システム」より定期健康診断結果の項目を収集します

所属学部・学科、年齢、性別、身長、体重、血圧、AST、ALT、HDL コレステロール、中性脂肪、LDL コレステロール、ヘモグロビンA1c

既往歴、自覚症状、アレルギー歴、居住形式、睡眠時間、食事摂取習慣、運動習慣

麻疹抗体価、風疹抗体価、水痘抗体価、流行性耳下腺炎抗体価

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年9月1日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに学生さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当大学における学業において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

い。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座

氏名：手塚直行

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座

電話番号：058-230-6448

氏名：手塚直行

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp